



パワー浜松ロータリークラブ週報 2013年9月3日号

パワー浜松ロータリークラブ(2013-14年度会長:松本好司)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC

本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう ～心で感じて・考えて・活動しよう～



第500回例会9月3日(火)AM7:30~8:30オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:木村満義・梯正之 ■点鐘:松本好司
- ロータリーソング:夢のみずうみ
- ゲスト:
東京神田RC 多田 宏様
米山記念奨学会 浜松南RC 富田 明様
米山記念奨学生 蔡遣さん
- 議事:東京神田RC 多田 宏様卓話
私は何故ロータリアンなのか?



出席報告

本日出席率
65/79 名
82.2%
前々回出席率
85.37%

会長挨拶

本日は第500回の記念例会です。当クラブは12年目を迎え、20代後半から70代までの年齢層で、世代を超え価値観を共有するにはどうすればよいかを考える中、今年度7月に地区増強セミナー講師にて多田宏(ただ ひろむ)様と出会いました。多田様の所属の東京神田ロータリークラブは本年50周年を迎えると同様です。多田様におかれましてはロータリー暦40年になる大先輩で、一つ一つの言葉がロータリアンとして勉強になると感じます。今年度のテーマ「心で感じて・考えて・活動しよう」です。多田様の卓話テーマ「私は何故ロータリアンなのか」について、何かを感じ取って考えて頂きたいと思います。

幹事報告

レターケースにてロータリーの友9月号を配布いたしました。

中田島清掃の出席メ切りが本日となっています。家族又は従業員など会社関係の参加が有る場合も出席のご連絡お願い致します。

9月24~27日(火~金)ファイヤーサイドミーティングの日程が出来ましたらメールでお知らせ致します。出席の確認をお願いします。

第2回理事会より
新会員候補者が承認されメールにて会員公示をしております。異議のある方は9月9日までに幹事までご連絡下さい。

日程変更のご連絡です。10月1日朝例会でしたが、浜松中RCと合同例会を行うこととなり日程変更をいたします。
10月1日(火)朝例会は例会変更のため休会
10月4日(金)夜例会 19:00~となります。
スケジュールの調整をお願い致します。

地区関連行事について
9月8日(日)グランシップ静岡にてロータリー財団委員会に小澤さん田淵さんが参加致します。

次週、9月10日は中田島清掃の例会変更のため休会です。
9月14日(土)は中田島清掃となり、浜松中RCと合同で行います。朝7時集合となっております。

浜松南RC 富田明様:米山記念奨学生蔡遣さんの奨学期間を来年3月までの延長のお願い。

蔡遣さん:先日富士山に行ってきた時のことです。私は将来人を助ける仕事ができるのでしょうか。こんな私でも、経営学で学んだ知識で企業の経営を助ける事ができるようになるのでしょうか、と考えていた時、富士山が目に見えました。富士山の山頂は高く美しいです。その富士山の山頂の高さと美しさを実感したいなら、麓から一步一步自分の足で歩いていくしかない。千里の道も一歩からという言葉がありますが、私も一步一步頑張らなければならぬと感じました。得た知識で自分をもっと強くし、今までずっと応援してきてくれた人たちや、この社会に恩をお返ししたいと思います。

委員会報告

親睦委員会 渡辺さん: 9/23の「たきや漁」の案内
新世代奉仕プロジェクト 加藤さん: マリーンさん歓迎会案内

スマイル報告

松本好司・諸星圭吾
多田宏(ひろむ)様、本日は、当クラブの卓話にお越しいただき誠にありがとうございました。本日の話を参考に今後のロータリー活動に活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

会員増強維持委員長、堀内善弘・部長、林竹計さん
本日卓話をして下さいました多田様、昨夜のホテルオークラ入りから、懇親会では、松本会長以下、メンバーに対し、いろいろと楽しいお話をありがとうございました。お身体ご自愛ください、ますますお元気で活躍ください。引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

坂井光蔵さん
弊社のチラシをお配りしました。前回は、6月に古着を寄付して頂き、大型トラック一杯になりました。今回は、ランドセルと文房具を集めています。アフガニスタンの子供達に送ります。クラブのメンバーの方々にも助けて頂きました。こうした活動もロータリーの活動を通じて得た物ですが、社員にも伝わっているのかなと感じています。

小田木基行さん
大相撲浜松出世場所が、昨年に引き続き10月19日(土)に浜松アリーナで開催します。白鵬、日馬富士両横綱含めて250名が浜松にやってくる。横綱の綱締め、相撲甚句など、本場所より楽しく観て頂けると思います。迫力のある取り組みを、お時間があれば身に来て下さい。

市川正良さん
10月1日から2月28日までの、宿泊・レストラン割引券と、9月23日(祝日)のホテルイベント「花の舞美酒と、フレンチ美酒の饗宴」のパンフレットをお配りさせて頂きました。お一人様2万円でございます。総料理長が自身を持ってご提供致します。この機会にぜひご予約下さいませようお願い申し上げます。

第500回例会9月3日(火) 卓話 卓話者 東京神田ロータリークラブ 多田 宏様卓話

「私は何故ロータリアンなのか？」

山本英夫会員： 本日は、東京神田ロータリークラブの多田宏様をお呼びして「私は何故ロータリアンなのか」というテーマで卓話をさせていただきました。ロータリークラブに所属しているということと、その心を理解して行動しているロータリアンとは本質的に違うものです。新たな10年を進める中で、改めてロータリアンとしての心と在り方とそして行動について思いをいたしてみたいと思います。

多田様のレジメは次の通りでした。

- 1 はじめに
- 2 ロータリアンになった動機は何か
- 3 ロータリーの綱領を理解しているか
- 4 ロータリー精神は育成するもの、学ぶもの
- 5 親睦団体に奉仕を注入した歴史をみよ
- 6 ロータリーにおける奉仕とは
- 7 ロータリー活動のコアバリュー
- 8 おわりに

そして、そのレジメに沿ってお話しが進みました。

動機としては、やはり先輩や上司・知人に尊敬できる人がいたから、そして、そのような尊敬できる人格や人間性を育てていくことができそうだから入会したそうです。一般的には、友達がいて孤独から解放されるからとか、認知度が高まるから、虚栄からというようなことが言えるということでした。

やはり、ロータリーの綱領をどれだけ深く理解しているか、ということがとても重要です。綱領とは結社の理念、旗印のことです。また、ロータリー精神は学び、育成していくものであるということです。

「論語読みの論語知らず」という言葉がありますが、いつも唱和したり、資料として読んでいるにも関わらず、その本当の意味やその成り立ちについて知っているメンバーばかりではありません。自らの心を育むもの、精神を磨く場所としてのロータリークラブとして認識を新たにして入会し、学び、出席して、そして奉仕することが大切です。

そして、ロータリーにおける奉仕活動の意味を改めて考えて下さい。単なる親睦団体では長続きしにくいものです。そこで、本当に社会的に意味のある活動としての奉仕活動が組み込まれていったのです。

その上で、ロータリーにおける奉仕の位置づけをしてみますと、「地域社会への奉仕」、その前に「職業を通じた奉仕」またその前に「一人一人の自立した奉仕」、つまり個人が最優先、次のその人の職業、それから所属する社会・国家・国際へと発展していくものと考えられます。

「I Serve」はこれにより、その概念は生まれたのです。

最後に、ロータリー活動のコアバリューについて付言しておきたいと思います。

「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ。」

この5つのコアバリューについて、もう一度ご確認をお願いしたいと思います。

いろいろな会員が集って会を成しております。いろいろな人と仲良く、こびへつらうことなく高潔性を持ってさまざまなレベルでの奉仕活動を展開していただきたいと思います。

それらの活動において、よりよきリーダーシップが求められることは言うまでもありません。

ご清聴、ありがとうございました。

